

美術科学習指導案

廿日市市立廿日市中学校 教諭 中本 賢一

- 1 学 年 第1学年
- 2 場 所 美術室
- 3 題材名 「描いて見付けよう！ゴッホの作品のよさや美しさ」
- 4 題材設定の理由

○題材観

本題材は、中学校学習指導要領美術（平成20年）の第1学年「B鑑賞」（1）の事項ア「造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げること。」を受けて設定した。本題材は、形、色彩、材質感が作者の意図や表現の工夫としてどのように作品に使用されているかを意識する制作活動（「鑑賞のための制作」）を通して、対象の見方や感じ方を広げることがねらいとする。授業では、フィンセント・ファン・ゴッホの「星月夜」の鑑賞を行う。この作品は、形（奥行きや遠近感）、色彩（補色対比、並置混色）、材質感（油絵の具の厚みによる質感や量感）など造形要素が特徴的であり、それを意識して鑑賞することで対象の見方や感じ方を広げることができる題材である。

○生徒観

本学年の生徒は、第1学期に表現の題材を学習する中で、色彩に関する知識も身に付けている。そのため色の三属性、色の対比、配色の効果についてある程度意識しながら学習することができる。事前に行ったアンケートでは、「自分の見方や感じ方をもっている」と肯定的に答えた生徒は80.3%いた。その理由として「形、色彩、材質感などに注目して鑑賞しているから」、「表現の意図を考えながら鑑賞しているから」、「作品を見たときにきれい、すごい、楽しいなどの感情がわくから」などを挙げている。一方、「自分の見方や感じ方をもっていない」と否定的にとらえている生徒が19.7%であった。その理由として、「どこに注目したらよいか分からない」、「あまり鑑賞したことがない」、「きれいだくらいしか分からない」などを挙げている。

○指導観

上記の課題の原因について、造形要素に関する知識を教えてはいても、鑑賞の際にそれを鑑賞の視点としてどのように活用するか十分に指導できていなかったためだと考えた。そこで、指導に当たっては、「鑑賞のための制作」として、鑑賞する作品中にある形、色彩、材質感がどのように使われているか意識できるような制作を取り入れ、造形要素を意識させる。具体的には、まず、対象を自分なりの見方や感じ方で鑑賞させ、どのくらい自分が鑑賞の視点をもっているかを自覚させる。その後、他の生徒と思いを出し合うなかで他者の見方や感じ方に触れさせる（鑑賞①）。次に、「鑑賞のための制作」を行い、作品中で形、色彩、材質感がどのように使われているかを実感させ、新たな見方や感じ方を発見させる。そして、改めて同じ作品を鑑賞させる（鑑賞②）。そうすることで、生徒は新たな対象の見方や感じ方を生徒自身のなかに加え、見方や感じ方を広げることができる。と考える。

5 題材の目標

鑑賞のための制作を通して形、色彩、材料などの造形要素を意識して鑑賞し、対象の見方や感じ方を広げることができる。

6 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
鑑賞する作品に興味をもち、意欲的に鑑賞活動に取り組もうとしている。	「鑑賞のための制作」を通して造形要素を意識し、対象の見方や感じ方を広げている。

7 指導と評価の計画

次	時間	学習内容	評価の観点				評価方法	
			関	発	技	鑑		
第一次	1	○美術作品を鑑賞して造形要素に関心をもつ。	○				美術作品を鑑賞し、表現の工夫に関心をもっている。	生徒の発言 ワークシート
		○美術作品を造形的な要素を意識して鑑賞する。				○	自分なりの見方や感じ方で造形要素に着目して鑑賞をしている。	生徒の発言 ワークシート
第二次	1	○「鑑賞のための制作」を通して造形要素の使い方を実感する。				○	鑑賞のための制作により造形要素がどのように表現の工夫に使われているか気付いている。	生徒の発言 ワークシート
第三次	1	○学習の成果を活用し、造形要素の視点から鑑賞を行う。				○	「鑑賞のための制作」で気付いた造形要素の使われ方（表現の工夫）を鑑賞の視点として活用し、見方や感じ方を広げている。	生徒の発言 ワークシート

8. 本時の展開

【第一次】

- (1) 本時の目標：造形要素を意識して美術作品を鑑賞することができる。
- (2) 観点別評価規準：美術作品を鑑賞し、表現の工夫に関心をもっている。(関心・意欲・態度)
自分なりの見方や感じ方で造形要素に着目して鑑賞をしている。(鑑賞の能力)
- (3) 準備物 生徒：デザインセット、筆記用具
教師：提示用資料（ゴッホ作品複製）、ワークシート
- (4) 学習の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項	評 価 規 準 (評価方法)
導入 5分	(1)本時の目標・内容を知る。	①本時の目標を提示する。 ・ゴッホの作品「星月夜」を鑑賞することを伝える。 ②活動内容の流れを説明する。 (個人鑑賞→グループ交流)	
展開 40分	<p style="text-align: center;">造形要素を意識してゴッホの作品を鑑賞しよう。</p> (2)作品鑑賞を行う。 ○第一印象も大切にしながら、造形要素に着目して作品を鑑賞する。 (個人 15分) ○自分の意見をグループの中で交流する。 (グループ 15分) ○交流した内容を全体に発表する。 (発表 10分)	③個人で作品(資料)を鑑賞し、ワークシートに自分の意見を記入する。 ○造形要素(形、色彩、材料)を手がかりに作品の分析が行えるよう鑑賞の視点を提示しておく。 ④グループでお互いの意見を出し合わせ、見方や感じ方を共有化させる。 ○多数決や正しい、間違っているという見方ではなく、それぞれの見方を尊重する。 ○司会進行、記録、発表者を決めさせておき、すぐに発表ができるようにしておく。 ⑤グループ交流したことを全体に発表させる。 ○他のグループの発表から出た意見もメモさせるなどして、まとめて生かせるようにする。	・美術作品を鑑賞し、表現の工夫に関心をもっている。(関心・意欲・態度) ・自分なりの見方や感じ方で造形要素に着目して鑑賞をしている。(鑑賞の能力) 【生徒の発言】 【ワークシート】

まとめ 5分	(3)本時のまとめをする。	⑥今日の授業を振り返り、自分の活動、グループでの交流、発表から得た気づきをまとめさせる。 ・次時の予告を行う。	
-----------	---------------	--	--

【第二次】

- (1) 本時の目標：「鑑賞のための制作」を通じて造形要素を意識する。
(2) 観点別評価規準：「鑑賞のための制作」により造形要素がどのように表現の工夫に使われているか気付いている。(鑑賞の能力)
(3) 準備物 生徒：デザインセット、筆記用具
教師：ワークシート（画用紙にゴッホの絵の輪郭線だけを印刷したもの）
(4) 学習の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項	評 価 規 準 (評価方法)
導入 5分	(1)本時の目標・内容を知る。	①本時の目標を提示する。 ・ワークシートに制作することで作品の中にある表現の工夫を見付けることを伝える。 ②活動内容の流れを説明する。 (制作のポイントの説明→制作→まとめ)	
展開 40分	描いて見つけよう！ゴッホの作品のよさや美しさ		・「鑑賞のための制作」により造形要素がどのように表現の工夫に使われているか気付いている。(鑑) 【ワークシート】
	(2)鑑賞のための制作をする。 ○鑑賞のための制作(30分) ○片付け(5分) ○気づきの記入(5分)	③ワークシートに造形要素を意識しながら制作をさせる。 ○色から受けるイメージや配色の効果などを意識させながら、気づきを言葉でワークシートに書き込ませるようにする。 ○制作時間を意識させて、見通しをもった制作をさせる。 ④後片付けをさせる。 ⑤他の生徒が制作した作品を見て、新たな気づきを、ワークシートに記入させる。	
まとめ 5分	(3)本時のまとめをする。	⑥今日の授業を振り返り、気づきをまとめさせる。 ・次時の予告を行う。	

【第三次】

- (1) 本時の目標：自分の見方や感じ方と「鑑賞のための制作」で実感した見方や感じ方を併せて、見方や感じ方を広げることができる。
- (2) 観点別評価規準：「鑑賞のための制作」で気付いた造形要素の使われ方（表現の工夫）を鑑賞の視点として応用し、見方や感じ方を広げている。（鑑賞の能力）
- (3) 準備物 生徒：デザインセット、筆記用具
教師：提示用資料（ゴッホ作品複製）、ワークシート
- (4) 学習の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項	評 価 規 準 (評価方法)
導入 5分	(1) 本時の目標・内容を知る。	① 本時の目標を提示する。 ・ゴッホの作品「星月夜」をもう一度鑑賞することを伝える。 ② 活動内容の流れを説明する。 (個人鑑賞→グループ交流)	
展開 40分	自分の見方や感じ方と「鑑賞のための制作」を通して見付けた見方や感じ方を意識してゴッホの作品を鑑賞しよう。		<ul style="list-style-type: none"> ・「鑑賞のための制作」で気付いた造形要素の使われ方（表現の工夫）を鑑賞の視点として応用し、見方や感じ方を広げている。(鑑) 【生徒の発言】 【ワークシート】
	(2) 作品鑑賞を行う。 ○第一印象も大切にしながら、造形要素に着目して作品を鑑賞する。 (個人 5分) ○自分の意見をグループの中で交流する。 (グループ 20分) ○交流した内容を全体に発表する。 (発表 15分)	③ 個人で作品（資料）を鑑賞し、ワークシートに自分の意見を記入させる。(第二次の振り返り) ○造形要素（形、色彩、材料）を手がかりに作品の分析が行えるよう鑑賞の視点を提示しておく。 ④ グループでお互いの意見を出し合わせ、見方や感じ方を共有化させる。 ○多数決や正しい・間違っているという見方ではなく、それぞれの見方を尊重する。 ○司会進行、記録、発表者を決めさせておき、すぐに発表ができるようにしておく。 ○「鑑賞のための制作」で出た気づきをまとめ全体に発表できるようにしておく。 ⑤ グループ交流したことを全体に発表させる。 ○他のグループの発表から出た意見もメモさせるなどして、まとめに活かせるようにする。	
まとめ 5分	(3) 本時のまとめをする。	⑥ 今日授業を振り返り、自分の活動、グループでの交流、発表から得た気づきをワークシートにまとめさせる。	